

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスHARU千里丘		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントの企画力	高学年向けには職場体験を実施したり、パソコン教室と連携することで自立に向けたスキルの確立を図っている。一方、低学年も楽しめるようにおでかけ等のイベントも多く実施している。また、ご家族からアンケートでいただいたお声をもとにイベントを企画するなど、常に新しく満足度の高いイベントを実施できるよう心がけている。	SSTの時間等を活用し、子どもたち自身に理想のイベントを考えてもらうだけでなく、どうすれば実際に実現できるのというところまで考え、調べて、職員にプレゼンをしてもらい、自立の促進も兼ねてイベントの実施につなげていく。
2	学校や相談支援窓口など、他機関との連携	学校や家庭内でのトラブルがあった、学校に思うように行けていないなどの問題があったとき際、学校や相談支援窓口とは情報共有を図るなど、自施設だけではなく、他機関と協力しつつ問題解決に取り組むよう臨んでいる。	なにかがあってからの対応だけではなく、日ごろから情報交換をこれまでよりも密に行うなど、顔の見えるネットワークの構築を心がける。また、場面に応じて、必要な他機関と連携が取れるよう連携先を増やしていく。
3	保護者支援	家族支援や相談業務に加え、季節のイベントに保護者を招待し、子どもたちの普段の様子を見ていただいている。また、毎月親子で参加できるクッキングイベントを開催することで、そのなかで子どもとのかかわり方などの悩みの相談にも対応している。	保護者同士が交流できる場は設けているが、それをメインとした場はまだ設けられていない。また、ペアレントトレーニングなども今後保護者からの希望があれば実施していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高校進学へのサポート	これまでは高校受験をする利用者がいなかったため、そもそも保護者からも相談がなかった。ただ、継続して利用していただく利用者が多く、平均年齢も上がり、高校進学に関する相談が増えてきている。	高校進学については中学校がメインになってサポートしていただくとは思いますが、当方でどういった進学先があるのかパンフレットをそろえたり、職員も高校進学に関する知識をつけるなど、サポートできる体制を整えていく。
2	定員の枠が埋まってしまっていて希望通りの利用ができない	退所される方が少ないため、新規で利用を希望される方にも多くお待ちいただいている。また、ご利用中の方にも利用日の増加をご希望いただいている方が多い。	卒業や進学などで枠に空きができれば、なるべく多くの方にご利用いただけるようお声かけを行っていく。
3	児童発達支援との連携	新しく当方を利用することになった保護者から児童発達支援と情報共有や連携をとってほしいとの希望が出たことがなく、これまでは児童発達支援との連携が取れていなかった。	今後は児童発達支援を利用していたかの聞き取りを入所時に行うとともに、保護者の意向も確認しつつ、必要に応じて児童発達支援との連携を図る。